

『術後気道壊死に関する全国実態調査』 について

➤ 研究（調査）の目的と概略

術後気道壊死は上縦隔に操作の及ぶ咽頭癌・喉頭癌・食道癌術後合併症の一つです。手術後に、様々な原因で気管や気管支といった空気の通り道が壊死し、重篤化した場合、治療が難しく致命的になる場合もある病態ですが、発生は比較的稀とされ、その実態については明確ではありません。

➤ 研究（調査）の方法

日本気管食道科学会の認定施設における、2014年1月1日～2019年12月31日の咽頭癌・喉頭癌・食道癌の術後気道壊死のデータをアンケート形式で集積します。このアンケートのデータを解析することで、疫学的特徴、病態、治療や予後について調査・解析します。

➤ 研究（調査）の参加施設

日本気管食道科学会認定施設

➤ 調査期間

理事会承認日～2年間

➤ 調査の対象となる患者さんへ

この研究は、咽頭癌・喉頭癌・食道癌で治療を受けられた患者さんを対象に、カルテから得られた所見や診療経過のデータについてアンケートを行い解析するものです。アンケート結果は、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を守ります。

➤ この調査への協力は任意です。

この調査に協力するかどうかは、患者さんの自由な意志で決まります。調査への協力を同意されなくても、患者さんに不利になることはありません。また、調査に協力することを同意した後でも、いつでも撤回することができますし、そのために不利益を被ることはありません。

➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。
研究責任者：佐伯浩司（群馬大学大学院総合外科学講座 消化管外科学分野）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F
E-mail : jbes@kishoku.jp